

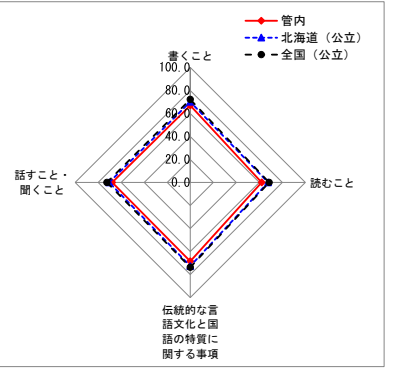
設問別調査結果 [国語A：主として知識]
後志管内一児童

以下の集計値／グラフは、4月22日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

Table with columns: 対象児童数, 後志管内, 北海道(公立), 全国(公立). Sub-table with columns: 分類, 区分, 対象設問数(問), 管内, 北海道(公立), 全国(公立). Rows include 全体, 学習指導要領の領域等, 評価の観点, 問題形式.

<学習指導要領の領域等の平均正答率の状況>



設問別集計結果

※一つの設問が複数の区分に該当する場合は、それぞれの区分について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

Main table with columns: 設問番号, 設問の概要, 出題の趣旨, 学習指導要領の領域等, 評価の観点, 問題形式, 正答率(%), 無解答率(%). Rows list specific questions (e.g., 1-1, 1-2, 1-3, 1-2-1, 1-2-2, 1-2-3, 2-1, 2-2, 3, 4, 5, 6-1, 6-2, 7, 8) and their corresponding data points.

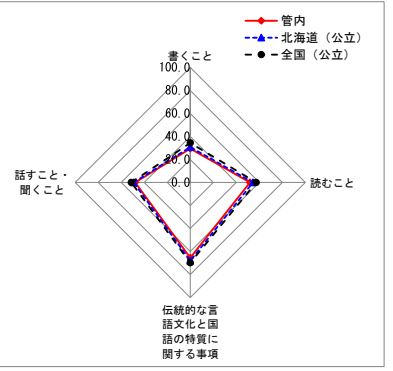
設問別調査結果 [国語B：主として活用]
後志管内一児童

・以下の集計値／グラフは、4月22日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象児童数		後志管内	北海道（公立）	全国（公立）	
		1,641	42,939	1,080,444	
分類	区分	対象設問数（問）	平均正答率（%）		
			管内	北海道（公立）	全国（公立）
全体		10	50.7	52.9	55.5
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	47.9	49.2	51.2
	書くこと	3	29.4	30.7	34.4
	読むこと	7	51.9	54.5	57.3
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	2	65.4	68.0	69.8
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3	29.4	30.7	34.4
	話す・聞く能力	3	47.9	49.2	51.2
	書く能力	3	29.4	30.7	34.4
	読む能力	7	51.9	54.5	57.3
	言語についての知識・理解・技能	2	65.4	68.0	69.8
問題形式	選択式	4	58.3	60.4	62.1
	短答式	3	61.9	65.1	67.7
	記述式	3	29.4	30.7	34.4

<学習指導要領の領域等の平均正答率の状況>



設問別集計結果

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があります。それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合があります。

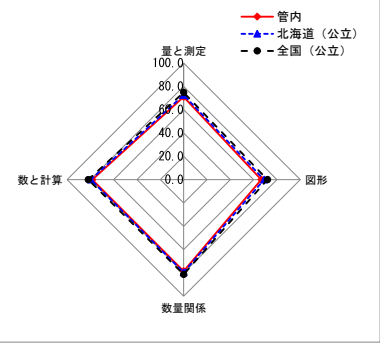
設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等					評価の観点			問題形式			正答率（%）			無解答率（%）			
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	管内	北海道（公立）	全国（公立）	管内	北海道（公立）	全国（公立）
1一	司会④の発言の内容をまとめて書く	目的に応じて、話合いの観点を整理する	5-6オ					○				○			61.1	62.5	65.2	9.4	9.4	7.9
1二	林さん⑤の質問の狙いとして適切なものを選択する	質問の意図を捉える	5-6エ					○				○			56.6	58.1	60.2	2.9	3.9	3.5
1三	大野さん②の発言に対し、手書きの立場から質問か意見を書く	立場を明確にして、質問や意見を述べる	5-6エ	5-6ウ				○	○	○				○	26.0	27.0	28.3	5.7	6.2	5.0
2一	付箋の内容を関係付けて、原田さんの疑問を書く	付箋に書かれた内容を関係付けながら、最初にもった疑問を捉える			5-6ウ					○		○			65.3	68.3	71.9	10.7	10.3	8.2
2二	付箋の内容を関係付けて、野口さんのまとめを書く	分かったことや疑問に思ったことを整理し、それらを関係付けながらまとめて書く			5-6ウ			○	○	○			○		21.3	22.5	26.9	10.5	9.6	7.4
2三	疑問を解決するために、目次や索引の中から必要となるページの番号を書く	課題を解決するために、目次や索引を活用して、本を効果的に読む			5-6イ					○		○			59.2	64.4	66.0	5.4	4.8	4.3
3一（1）	【詩1】の表現の特徴として適切なものを選択する	二つの詩を比べて読み、表現の工夫を捉える			5-6エ	5-6（イ）（カ）				○	○	○			76.1	79.4	80.4	4.3	4.6	4.4
3一（2）	【詩2】の表現の特徴として適切なものを選択する				5-6エ	5-6（イ）（カ）					○	○	○			54.8	56.7	59.2	5.7	5.7
3二	【詩2】に対する山田さんの解釈として適切なものを選択する	詩の解釈における着眼点の違いを捉える			3-4オ						○	○			45.9	47.6	48.5	20.8	20.8	19.8
3三	【詩1】と【詩2】を比べて読んで考えたことを書く	二つの詩を比べて読み、自分の考えを書く	5-6ウ	5-6エ				○	○	○			○		41.0	42.7	48.1	31.6	30.6	26.0

以下の集計値／グラフは、4月22日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象児童数		後志管内	北海道(公立)	全国(公立)	
		1,641	42,949	1,080,657	
分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
			管内	北海道(公立)	全国(公立)
全体		17	74.3	75.8	78.1
学習指導要領の領域	数と計算	8	78.4	79.6	81.8
	量と測定	3	71.0	72.6	74.8
	図形	4	66.5	69.0	71.8
	数量関係	3	78.5	79.6	81.3
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0			
	数学的な考え方	0			
	数量や図形についての技能	8	85.9	86.2	87.9
問題形式	数量や図形についての知識・理解	9	64.0	66.6	69.5
	選択式	8	65.1	67.8	70.7
	短答式	9	82.4	83.0	84.8
	記述式	0			

＜学習指導要領の領域の平均正答率の状況＞



設問別集計結果

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

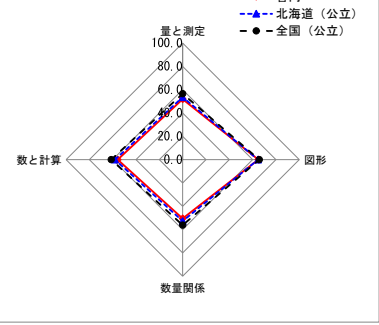
設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			正答率(%)			無解答率(%)					
			数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	管内	北海道(公立)	全国(公立)	管内	北海道(公立)	全国(公立)			
1(1)	46+57を計算する	線り上がりのある加法の計算をすることができる	2A(2)ア														97.0	96.8	96.9	0.0	0.0	0.1
1(2)	903×6を計算する	被乗数に空白のある整数の乗法の計算をすることができる	3A(3)イ														93.4	92.9	92.8	0.1	0.2	0.2
1(3)	9-0.8を計算する	小数第1位までの減法の計算をすることができる	3A(5)イ														81.5	82.4	83.8	0.7	0.9	0.8
1(4)	2÷5を計算する	商が小数になる除法の計算をすることができる	4A(5)ウ														89.8	90.4	91.8	0.6	0.9	0.9
1(5)	100-20×4を計算する	減法と乗法の混合した整数の計算をすることができる				4D(2)ア											77.8	79.2	80.9	0.1	0.4	0.5
1(6)	1/3+2/5を計算する	異分母の分数の加法の計算をすることができる	5A(4)オ														86.9	87.0	90.6	1.0	1.4	1.1
2(1)	示された図を基に、赤いテープの長さが白いテープの長さ(80cm)の1.2倍に当たるときの赤いテープの長さを求める式を選ぶ	割合が1より大きい場合、比較量の求め方が(基準量)×(割合)になることを理解している	5A(3)ア														65.6	68.5	71.9	0.1	0.3	0.3
2(2)	示された図を基に、青いテープの長さが白いテープの長さ(80cm)の0.4倍に当たるときの青いテープの長さを求める式を選ぶ	割合が1より小さい場合でも、比較量の求め方が(基準量)×(割合)になることを理解している	5A(3)ア														46.5	49.2	54.1	0.1	0.4	0.4
3	示された分数の中から、1/2より大きいものを選ぶ	分数の相等及び大小について理解している	5A(4)アイエ														66.4	70.0	72.5	0.6	0.7	0.6
4(1)	8m ² に16人いるAの部屋のの様子を表している図を選ぶ	二つの数量の関係について、単位量当たりの大きさを調べる場面と図とを関連付けることができる	5B(4)ア														79.2	80.5	82.3	0.6	0.8	0.7
4(2)	8m ² に16人いるAの部屋について、1m ² 当たりの人数を求める式を書く	単位量当たりの大きさを求める式を理解している	5B(4)ア														56.6	58.0	60.8	2.6	4.0	3.4
5(1)	直径6cmの円の円周を求める式と答えを書く	円周の長さを、直径の長さを用いて求めることができる				5C(1)エ											81.7	80.8	83.9	0.9	1.6	1.5
5(2)	1cm ³ の立方体を基に、示された直方体の体積を求める	体積の単位(1cm ³)と測定について理解している	5B(2)アイ														77.1	79.1	81.1	1.8	2.2	1.8
6	コンパスを使った平行四辺形のかき方について、用いられている平行四辺形の特徴を選ぶ	作図に用いられている図形の約束や性質を理解している	4C(3)アイ														41.9	47.2	52.0	0.7	0.7	0.6
7	縦5cm、横11cm、高さ4cmの直方体の面①になる四角形を選ぶ	立体図形とその見取図の辺や面のつながりや位置関係について理解している	2C(1)ウ 4C(2)ア														63.6	67.7	69.4	0.7	0.7	0.7
8	答えが100-20×4の式で求められる問題を選ぶ	四則の混合した式の意味について理解している				4D(2)ア											78.7	79.5	81.0	0.9	1.1	0.9
9	正五角形の1辺の長さを□cm、まわりの長さを△cmとしたときの、□と△の関係を正しく表している式を選ぶ	二つの数量の関係を□、△などの記号を用いて式に表すことができる	5C(1)ア														79.0	80.0	82.0	1.5	1.5	1.2

以下の集計値／グラフは、4月22日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象児童数		後志管内	北海道(公立)	全国(公立)	
		1,641	42,930	1,080,442	
分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
			管内	北海道(公立)	全国(公立)
全体		13	53.1	55.2	58.2
学習指導要領の領域	数と計算	8	55.8	58.1	61.3
	量と測定	5	51.8	53.6	56.5
	図形	1	64.8	64.6	65.7
	数量関係	5	50.5	52.7	56.2
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0			
	数学的な考え方	6	40.7	43.2	47.8
	数量や図形についての技能 数量や図形についての知識・理解	4 3	73.4 50.9	74.5 53.4	76.2 54.8
問題形式	選択式	4	61.5	63.5	64.7
	短答式	4	58.1	59.8	62.2
	記述式	5	42.4	44.8	49.7

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



設問別集計結果

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			正答率(%)			無解答率(%)		
			数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	管内	北海道(公立)	全国(公立)	管内	北海道(公立)	全国(公立)
1(1)	示されたかけ算の中で積に同じ数字が並ぶものを選ぶ	示された場面から計算の結果の見直しをもち、(2位数)×(1位数)の筆算をすることができる	3A(3)ア						○	○		93.2	93.8	94.6	0.1	0.3	0.3		
1(2)	二人の説明を基に、37×24の積が888になることを書く	示された計算のきまりを基に、異なる数値の場合でも工夫して計算する方法を記述できる	2A(1)エ 3A(3)ア		4D(3)ア			○		○		48.6	49.1	55.2	5.9	7.8	6.0		
2(1)	6・7月の水の使用量1500m ³ は、プールに入る水の量250m ³ の何倍かを求める式と答えを書く	示された場面から基準量と比較量を捉え、倍を求めることができる	4A(3)イエ		5B(2)ア			○		○		80.1	79.9	82.5	2.7	3.4	3.0		
2(2)	1日盛りを50m ³ として学校の水の使用量の表を棒グラフに表すとき、棒が縦20マスの中に入らない月を選び、そのわけを書く	最大値に着目して、棒グラフの棒を枠の中に表すことができない理由を記述できる	5B(2)ア		3D(3)ア			○		○		63.7	64.5	69.1	3.0	3.2	2.6		
2(3)	6・7月の水の使用量が、1年間の水の使用量の1/4より多いことを説明するために用いる適当なグラフを選ぶ	全体と部分の関係を示すために用いるグラフを選択することができる	5B(2)ア		2D(3) 3D(3)ア 4D(4)イ 5D(5)イ				○	○		59.8	61.8	61.5	1.5	1.4	1.2		
3(1)	昨年の昼食時間を見直したときに、今年は準備の時間を何分間にすればよいかを書く	示された情報を基に、条件に合う時間を求めることができる	3B(3)イ					○		○		32.0	35.1	38.6	4.1	4.6	3.4		
3(2)	40人分のご飯を分けるとき、10人分の目安を正しく表している図を全て選ぶ	10人分の量を基に40人分の量を相対的に捉え、その関係を表している図を選択することができる	1A(1)キ 2A(1)オ						○	○		50.2	54.2	56.7	2.1	2.3	1.8		
3(3)	示された分け方でスプーンを分けたとき、残りの30人にスプーンを分けることができるかどうかを選び、そのわけを書く	示された情報を基に必要な量と残りの量の大小を判断し、その理由を記述できる	2B(2)ア 5B(4)ア					○		○		23.6	26.5	30.6	2.3	2.3	1.9		
4(1)	㊦のリズムを3回目に演奏するのは何小節目かを書く	繰り返されるリズムの規則性(周期)を見だし、それを基に小節目を求めることができる	1A(1)イ		4D(1)ア			○		○		55.3	59.7	62.2	1.7	2.1	1.7		
4(2)	二人の㊦のリズムが重なる12小節目の12はどのような数であるかを書く	二人のリズムが重なる部分を、公倍数に着目して記述できる	5A(1)イ					○		○		50.9	55.1	60.5	14.9	15.2	12.1		
5(1)	畳の敷き方の約束を基に、残り4枚の長方形の板を置いた図をかく	示された条件を基に、残った平面に4つの長方形を敷き結めることができる			2C(1)イ			○		○		64.8	64.6	65.7	5.5	6.1	5.2		
5(2)	使いやすい箸の長さの目安を基に、一あた半の長さを表している図を選ぶ	示された情報を解釈し、基準量の1.5倍の長さを表している図を選択することができる	5A(3)ア						○	○		42.6	44.1	46.1	4.7	4.3	3.5		
5(3)	妹の身長を基に、妹の使いやすい箸の長さの求め方と答えを書く	示された情報を整理し、筋道を立てて考え、小数倍の長さの求め方を記述できる	5A(3)イ		5D(3)			○		○		25.2	28.5	33.0	17.4	16.7	13.1		

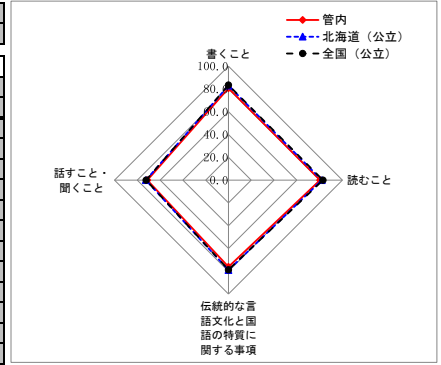
設問別調査結果 [国語A：主として知識]
後志管内一生徒

・以下の集計値／グラフは、4月22日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象生徒数		後志管内	北海道(公立)	全国(公立)	
		1,592	41,769	1,017,965	
分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
			管内	北海道(公立)	全国(公立)
全体		32	77.1	79.4	79.4
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	4	71.2	72.5	72.3
	書くこと	6	80.7	82.9	83.4
	読むこと	5	80.4	82.0	82.9
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	17	76.1	79.0	78.7
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	0			
	話す・聞く能力	4	71.2	72.5	72.3
	書く能力	6	80.7	82.9	83.4
	読む能力	5	80.4	82.0	82.9
問題形式	言語についての知識・理解・技能	17	76.1	79.0	78.7
	選択式	20	81.1	82.9	83.2
	短答式	12	70.3	73.5	73.1
	記述式	0			

<学習指導要領の領域等の平均正答率の状況>



設問別集計結果

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

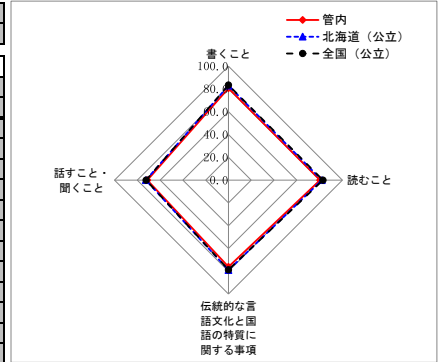
設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			正答率(%)			無解答率(%)					
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	管内	北海道(公立)	全国(公立)	管内	北海道(公立)	全国(公立)		
1一	フリップの効果の説明したものと適切なものを選択する	目的に応じて、資料を効果的に活用して話す	2ウ								○			○			77.7	78.1	78.6	0.1	0.1	0.2
1二	報告の内容を踏まえた質問として適切なものを選択する	必要に応じて質問し、足りない情報を聞き出す	1エ								○			○			77.8	80.6	80.3	0.1	0.1	0.2
2一	主人公の気持ちの変化にふさわしい空の描写として適切なものを選択する	心情が相手に効果的に伝わるように、描写を工夫して書き加える	2ウ								○			○			89.9	91.3	90.9	0.0	0.1	0.2
2二	仲直りができてうれしい主人公の気持ちを印象深く伝えるために書き換える	語句や文の使い方に注意して、伝えたい心情にふさわしい言葉に書き換える	2エ								○		○				75.1	79.0	79.8	12.9	9.8	9.2
3一	主人公が「素直りが出来なくなる」と思った理由として適切なものを選択する	登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解する			1ウ							○		○			90.6	91.2	91.9	0.1	0.1	0.2
3二	「ひとしくおれの方を見た」の意味として適切なものを選択する	文脈の中における語句の意味を理解する			1ア							○		○			79.8	80.6	79.8	0.1	0.1	0.2
3三	生徒の落書きを見たときの主人公の心情を説明したものと適切なものを選択する	登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する			2イ							○		○			75.7	77.3	79.1	0.2	0.3	0.4
4一	ウェブページの項目として適切なものを選択する	集めた材料を分類するなどして整理する		1イ								○		○			92.0	92.6	92.6	0.4	0.2	0.4
4二	主語を置き換えて行事の記録を書き直す	叙述の仕方などを確かめて、適切に書き換える		1エ								○		○			77.8	81.2	80.5	4.9	3.0	3.1
5一	「動物」と「外界のもの」との組合せとして適切なものを選択する	抽象的な概念を表す語句が示すものについて理解する			2ア							○		○			73.1	76.4	78.2	0.3	0.3	0.4
5二	「次々に簡略化していった」理由を説明したものと適切なものを選択する	文章全体と部分との関係を考え、内容を理解する			2イ							○		○			82.9	84.4	85.6	0.5	0.3	0.5
6一	二人の発言を聞いて、意見の相違点を整理する	目的に沿って話し合い、互いの発言を検討する	2オ								○			○			55.3	55.7	54.3	7.5	5.9	5.9
6二	話し合いの方向を捉えた司会の役割として適切なものを選択する	話し合いの方向を捉えて司会の役割を果たす	1オ									○		○			74.1	75.5	76.0	1.3	1.1	1.2
7一	文章を書くために使った付箋として適切なものを選択する	多様な方法で材料を集めながら考えをまとめる		2ア								○		○			81.1	83.7	84.6	0.4	0.4	0.6
7二	文章の構成を変える理由として適切なものを選択する	書いた文章について意見を交流し、文章を書き直す		2オ									○	○			68.2	69.8	72.1	1.1	0.8	1.0

・以下の集計値／グラフは、4月22日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象生徒数		後志管内	北海道(公立)	全国(公立)	
		1,592	41,769	1,017,965	
分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
			管内	北海道(公立)	全国(公立)
全体		32	77.1	79.4	79.4
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	4	71.2	72.5	72.3
	書くこと	6	80.7	82.9	83.4
	読むこと	5	80.4	82.0	82.9
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	17	76.1	79.0	78.7
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	0			
	話す・聞く能力	4	71.2	72.5	72.3
	書く能力	6	80.7	82.9	83.4
	読む能力	5	80.4	82.0	82.9
問題形式	言語についての知識・理解・技能	17	76.1	79.0	78.7
	選択式	20	81.1	82.9	83.2
	短答式	12	70.3	73.5	73.1
	記述式	0			

<学習指導要領の領域等の平均正答率の状況>



設問別集計結果

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			正答率(%)			無解答率(%)		
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	管内	北海道(公立)	全国(公立)	管内	北海道(公立)
8-1	漢字を書く(地域の人をショウタイする)	文脈に即して漢字を正しく書く				2(1) ウ(イ)				○		○		42.8	53.2	57.6	20.4	14.9	12.3
8-2	漢字を書く(円のハンケイを求める)		2(1) ウ(イ)				○		○		56.0	57.4	59.5	4.9	3.2	3.3			
8-3	漢字を書く(計画を行動にウツす)		2(1) ウ(イ)				○		○		73.0	75.0	73.6	13.8	11.3	10.9			
8ニ1	漢字を読む(アユの雑魚を放流する)	文脈に即して漢字を正しく読む				2(1) ウ(ア)				○		○		71.0	77.5	77.0	9.0	6.8	7.7
8ニ2	漢字を読む(このホールは童謡効果が良い)		2(1) ウ(ア)				○		○		92.0	92.4	88.6	2.8	2.8	4.1			
8ニ3	漢字を読む(新記録に読む)		2(1) ウ(ア)				○		○		95.7	95.8	95.2	0.7	0.9	1.3			
8三ア	適切な語句を選択する(よい結果を早く出したいときは、急がば回れといわれるように、かえって慎重に議論を進めるべきだ)	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う				1(1) イ(ウ)				○	○		53.2	57.2	59.2	0.8	0.7	1.0	
8三イ	適切な語句を選択する(先のことは分からないが、とりあえず準備だけはしておく)		1(1) イ(ウ)				○		○		95.7	96.4	96.2	0.4	0.4	0.6			
8三ウ	適切な語句を選択する(地域の伝統的な文化を継承する)		2(1) イ(イ)				○		○		78.1	80.0	80.8	0.7	0.6	0.8			
8三エ	適切な語句を選択する(笑い声が満ちている家には幸運が訪れることを、「笑う門には福来たる」という)		1(1) イ(ウ)				○		○		87.8	90.1	89.5	0.5	0.5	0.7			
8三オ	適切な敬語を選択する(お客様、私が校内をご案内します)		2(1) イ(イ)				○		○		91.2	93.0	93.0	0.8	0.6	0.8			
8三カ	適切な語句を選択する(あの人は、崖刀直入にものを言う)		1(1) イ(ウ)				○		○		85.5	88.5	86.3	1.0	0.8	1.1			
8三キ	適切な語句を選択する(忙しい兄は、休日にのびのびと羽を伸ばす)	1(1) イ(ウ)				○		○		92.5	93.0	92.1	0.9	0.8	1.0				
8四	国語辞典で調べたことを基に、語句の意味を書く(英気を養う)	辞書を活用して、語句の意味を適切に書く				2(1) イ(イ)				○	○		55.2	59.1	59.9	16.9	12.5	12.3	
8五1	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す(まうけて)	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む				1(1) ア(ア)				○	○		80.9	85.9	80.3	7.5	5.5	7.0	
8五2	古文に当てはまる言葉を普通話の中から抜き出す	古典と普通話とを対応させて内容を捉える				2(1) ア(イ)				○	○		68.3	70.1	71.0	11.3	8.3	9.0	
8六	文字を書く際に生かしたアドバイスとして適切なものを選択する	文字の大きさ、配列などに注意して書く				1(2) ア				○	○		75.6	78.3	77.6	1.4	1.4	1.6	

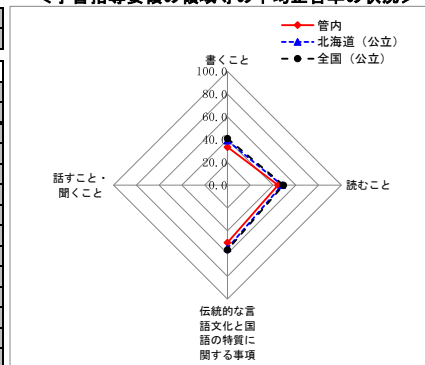
・以下の集計値／グラフは、4月22日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象生徒数		後志管内	北海道（公立）	全国（公立）
		1,592	41,765	1,018,157

分類	区分	対象設問数（問）	平均正答率（%）		
			管内	北海道（公立）	全国（公立）
全体			9	46.3	51.0
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	0			
	書くこと	3	33.5	39.2	41.0
	読むこと	8	44.4	47.9	49.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	4	50.4	55.3	56.8
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3	33.5	39.2	41.0
	話す・聞く能力	0			
	書く能力	3	33.5	39.2	41.0
	読む能力	8	44.4	47.9	49.2
問題形式	言語についての知識・理解・技能	4	50.4	55.3	56.8
	選択式	6	52.7	55.3	55.9
	短答式	0			
	記述式	3	33.5	39.2	41.0

<学習指導要領の領域等の平均正答率の状況>



設問別集計結果

※一つの設問が複数の区分に該当する場合は、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			正答率（%）			無解答率（%）		
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	管内	北海道（公立）	全国（公立）	管内	北海道（公立）
1一	標語に使用されている表現の技法として適切なものを選択する	表現の技法について理解する				1(1) イ(オ)				○	○	○	61.9	65.9	65.3	0.3	0.2	0.3	
1二	標語から伝わってくるメッセージを書く際に気を付けたこととして適切なものを選択する	文章に表れているものの見方について、自分の考えをもつ			2 エ				○		○	○	55.5	57.2	58.9	0.5	0.3	0.4	
1三	ノートを基に、標語から伝わってくる（メッセージ）とく表現の工夫とその効果を書く	文章の構成や表現の仕方などについて、根拠を明確にして自分の考えを書く	2 オ	2 ウ	1(1) イ(オ)	○	○	○	○		○	○	39.1	45.9	48.2	6.3	4.4	3.4	
2一	本とインターネットの内容を比較したときの説明として適切なものを選択する	複数の資料を比較して読み、要旨を捉える			1 イ				○		○	○	30.0	30.3	31.4	0.6	0.4	0.6	
2二	本やインターネットの内容から答えが得られるものとして適切なものを選択する	複数の資料から必要な情報を読み取る			1 カ				○		○	○	57.6	60.1	60.9	0.7	0.5	0.7	
2三	水の中に浸すと、切手をきれいにはがすことができる理由を書く	資料から適切な情報を得て、伝えたい事柄や事柄が明確に伝わるように書く	1 ウ	2 オ		○	○				○	○	22.9	27.5	28.4	24.8	18.5	16.0	
3一	読者が顔を向ける方向として適切なものを選択する	本や文章から、目的に応じて必要な情報を読み取る			1 カ				○		○	○	49.1	52.8	52.0	0.6	0.5	0.7	
3二	殿さまの言葉が表す殿さまの姿として適切なものを選択する	落語に登場する人物の言動の意味を考え、その姿を想像する	2 イ	2(1) ア(イ)					○	○	○	○	62.2	65.4	67.2	0.7	0.6	0.8	
3三	落語の演じ方を選択し、なぜそのように演じるのかを、本文を根拠に殿さまの気持ちを想像して書く	落語に表れているものの見方や考え方について、根拠を明確にして自分の考えを書く	1 ウ	2 エ	2(1) ア(ア)	○	○	○	○		○	○	38.5	44.2	46.5	11.9	9.8	8.6	

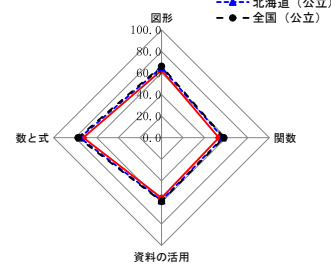
設問別調査結果 [数学A：主として知識]
後志管内一生徒

・以下の集計値／グラフは、4月22日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象生徒数		後志管内	北海道(公立)	全国(公立)	
		1,591	41,772	1,018,328	
分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
			管内	北海道(公立)	全国(公立)
全体		36	63.1	66.0	67.4
学習指導要領の領域	数と式	12	72.5	75.7	77.4
	図形	12	62.6	65.1	66.4
	関数	8	53.2	56.9	58.0
	資料の活用	4	55.9	58.3	59.1
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0			
	数学的な見方や考え方	0			
	数学的な技能	15	63.4	66.2	68.2
	数量や図形などについての知識・理解	21	62.8	66.0	66.8
問題形式	選択式	18	60.4	63.6	64.4
	短答式	18	65.7	68.5	70.4
	記述式	0			

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



設問別集計結果

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があります。それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合があります。

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			正答率(%)			無解答率(%)		
			数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	管内	北海道(公立)	全国(公立)	管内	北海道(公立)	全国(公立)
1(1)	$3/4 + 5/6$ を計算する	分数の除法の計算ができる	小6 (1)イ						○		○		79.1	82.3	85.8	5.1	3.5	2.8	
1(2)	$2 \times (-5^2)$ を計算する	指数を含む正の数と負の数の計算ができる	1(1) ウ						○		○		62.4	65.4	70.7	1.8	1.5	1.5	
1(3)	-7の絶対値を書く	絶対値の意味を理解している	1(1) ア							○	○		77.2	80.1	81.0	9.4	7.3	5.9	
1(4)	35を基準にして38を正の数で表す	正の数と負の数の意味を、実生活の場面に結び付けて理解している	1(1) ア,エ							○	○		87.4	89.4	91.1	3.1	2.5	2.3	
2(1)	「プールの水の深さは120cm以下である」という数量の関係を表した不等式を書く	数量の大小関係を不等式に表すことができる	1(2) エ						○		○		36.9	41.0	45.2	14.8	11.4	11.1	
2(2)	$10xy \div 5x$ を計算する	単項式どうしの除法の計算ができる	2(1) ア						○		○		86.5	90.1	90.7	3.3	2.5	2.4	
2(3)	$a=2, b=3$ のときの式 ab^2 の値を求める	指数を含む文字式に数を代入して式の値を求めることができる	2(1) イ						○		○		79.3	81.7	82.6	7.2	6.1	5.9	
2(4)	男子m人と女子n人が1人2個ずつ持った風船の合計数を、mとnを用いて表した式を選ぶ	数量を文字式で表すことができる	2(1) イ						○		○		88.6	90.0	91.2	0.4	0.3	0.4	
3(1)	一元一次方程式を解くとき、移項が行われている式変形として正しいものを選ぶ	等式の性質と移項の関係を理解している	1(3) イ							○	○		87.2	89.8	89.7	0.6	0.5	0.6	
3(2)	一元一次方程式 $(x-1)/3=2$ を解く	分数を含む一元一次方程式を解くことができる	1(3) ウ						○		○		53.1	58.4	59.5	16.2	13.0	12.4	
3(3)	連立二元一次方程式をつくるために着目する数量を選び、式で表す	着目する必要がある数量を見だし、その数量に着目し、連立二元一次方程式をつくることできる	2(2) ウ							○	○		69.4	73.4	74.1	1.8	1.3	1.0	
3(4)	連立二元一次方程式 $\begin{cases} y=3x-2 \\ y=2x+3 \end{cases}$ を解く	簡単な連立二元一次方程式を解くことができる	2(2) ウ							○	○		62.5	66.3	67.2	12.2	10.4	10.0	
4(1)	線対称な図形を完成する	対称軸が与えられたときに、線対称な図形を完成することができる	小6 (1)イ						○		○		95.0	94.1	93.8	2.3	2.4	2.5	
4(2)	与えられた方法で作図される直線について、正しい記述を選ぶ	線分の垂直二等分線の作図の方法について理解している	1(1) ア							○	○		54.3	56.6	56.0	0.6	0.6	0.7	
4(3)	与えられた角が回転移動した後の角を選ぶ	図形の回転移動について、移動前と移動後の2つの図形の辺や角の対応を読み取ることができる	1(1) イ						○		○		39.4	41.9	42.5	0.4	0.4	0.6	
5(1)	直方体の1つの面の対角線を含む直線と平行な面を書く	空間における直線と平面の平行について理解している	1(2) ア							○	○		78.1	79.2	81.0	6.5	4.9	4.2	
5(2)	三角形をそれと垂直な方向に一定の距離だけ平行に動かしてできる立体の名称を選ぶ	平面図形をその面と垂直な方向に平行に移動させたときの、空間図形の構成について理解している	1(2) イ							○	○		82.5	84.4	84.8	0.4	0.4	0.5	
5(3)	円錐の展開図において、側面のおうぎ形の半径を読み取る	円錐の展開図において、おうぎ形の半径が円錐の母線に対応していることを読み取ることができる	1(2) イ						○		○		64.6	66.8	67.7	9.6	7.9	7.4	
5(4)	円柱と円錐の体積を比較し、正しい図を選ぶ	底面が合同で高さが等しい円柱と円錐の体積の関係について理解している	1(2) ウ							○	○		29.6	34.9	38.7	0.6	0.6	0.7	

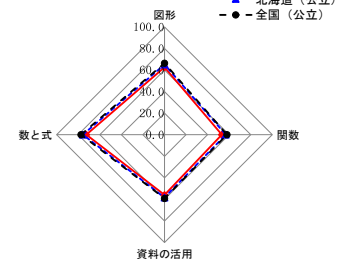
設問別調査結果 [数学A：主として知識]
後志管内一生徒

・以下の集計値／グラフは、4月22日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象生徒数		後志管内	北海道(公立)	全国(公立)	
		1,591	41,772	1,018,328	
分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
			管内	北海道(公立)	全国(公立)
全体		36	63.1	66.0	67.4
学習指導要領の領域	数と式	12	72.5	75.7	77.4
	図形	12	62.6	65.1	66.4
	関数	8	53.2	56.9	58.0
	資料の活用	4	55.9	58.3	59.1
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0			
	数学的な見方や考え方	0			
	数学的な技能	15	63.4	66.2	68.2
問題形式	数量や図形などについての知識・理解	21	62.8	66.0	66.8
	選択式	18	60.4	63.6	64.4
	短答式	18	65.7	68.5	70.4
	記述式	0			

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



設問別集計結果

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があります。それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合があります。

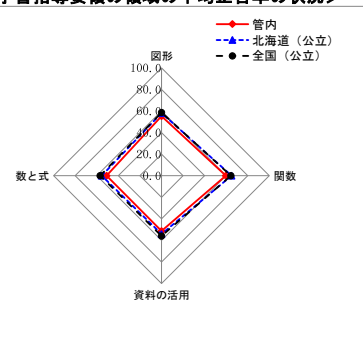
設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			正答率(%)			無解答率(%)		
			数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	管内	北海道(公立)	全国(公立)	管内	北海道(公立)	全国(公立)
6(1)	長方形ABCDにおいて、AC=BDが表す性質を選ぶ	記号で表された図形の構成要素間の関係を読み取ることができる	2(2)ウ					○		○		55.0	58.9	61.7	0.5	0.5	0.6		
6(2)	三角形の外角について、正しい記述を選ぶ	三角形の外角とそれと隣り合わない2つの内角の和の関係を理解している	2(1)ア							○	○	66.7	71.3	73.4	1.1	0.8	1.0		
6(3)	n角形の内角の和を求める式について、六角形の内角の和を求める過程を読み、(n-2)が表すものを選ぶ	n角形の内角の和を求める式 180×(n-2)における(n-2)の意味を理解している	2(1)イ							○	○	44.4	45.5	47.8	1.3	0.8	1.0		
7	証明で用いられている三角形の合同条件を選ぶ	証明を読み、根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している	2(2)ウ							○	○	69.8	72.8	73.1	0.8	0.7	0.9		
8	証明の方針を立てる際に着目すべき図形を指摘する	証明のための構想や方針の必要性と意味を理解している	2(2)イ、ウ							○		71.8	74.8	75.8	10.4	8.0	7.2		
9	与えられた表を基に、宅配サービスの重量と料金の関係を、「…は…の関数である」という形で表現する	関数の意味を理解している	1(1)ア							○	○	31.3	34.3	35.8	24.1	18.9	17.9		
10(1)	x=2, y=6 の比例の式を求める	比例の関係を式に表すことができる	1(1)エ					○			○	48.3	53.9	56.7	19.0	14.1	13.0		
10(2)	反比例の性質を表した記述を選ぶ	反比例の意味を理解している	1(1)イ							○	○	68.2	74.8	75.9	1.1	0.9	1.1		
10(3)	s=vt を基に、速さvが一定のとき、時間tと道のりsの関係について、正しい記述を選ぶ	与えられた式を基に、事象における2つの数量の関係が比例であることを判断することができる	1(1)エ							○	○	53.6	58.6	60.4	1.6	1.3	1.5		
10(4)	反比例のグラフから表を選ぶ	反比例について、グラフと表を関連付けて理解している	1(1)エ							○	○	42.3	43.7	45.7	2.0	1.5	1.7		
11(1)	変化の割合が2である一次関数の関係を表した表を選ぶ	一次関数の変化の割合の意味を理解している	2(1)イ							○	○	45.1	49.9	47.3	1.8	1.4	1.8		
11(2)	一次関数 y=3x-4 のグラフを選ぶ	一次関数 y=ax+b について、a とbの値とグラフの特徴を関連付けて理解している	2(1)イ							○	○	72.6	74.8	75.1	1.4	1.2	1.4		
12	グラフから、連立二元一次方程式の解を座標とする点を選ぶ	連立二元一次方程式の解が、2直線の交点の座標として求められることを理解している	2(1)ウ							○	○	64.5	65.3	66.7	2.6	2.3	2.5		
13(1)	生徒60人の通学時間の分布を表した度数分布表から、ある階級の相対度数を求める	度数分布表から相対度数を求めることができる	1(1)ア					○			○	40.2	42.0	42.7	20.6	18.0	16.7		
13(2)	ハンドボール投げの記録の分布を表したヒストグラムから、記録の中央値を含む階級を選ぶ	ヒストグラムにおいて、中央値の意味を理解している	1(1)ア							○	○	49.8	54.8	52.0	2.4	1.7	1.8		
14(1)	画びょうを投げた実験結果から、上向きになる確率を選ぶ	確率の意味を理解している	2(1)ア							○	○	73.4	76.8	76.6	2.4	1.9	2.0		
14(2)	樹形図を利用して、3枚の硬貨を同時に投げるとき、表が2枚、裏が1枚出る確率を求める	樹形図などを利用して、確率を求めることができる	2(1)ア					○			○	60.1	59.4	65.1	12.8	12.6	10.6		

・以下の集計値／グラフは、4月22日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象生徒数		後志管内	北海道（公立）	全国（公立）	
		1,592	41,763	1,018,365	
分類	区分	対象設問数（問）	平均正答率（%）		
			管内	北海道（公立）	全国（公立）
全体		15	55.3	59.4	59.8
学習指導要領の領域	数と式	3	50.9	55.4	56.9
	図形	5	55.3	58.2	58.6
	関数	5	59.7	65.0	64.4
	資料の活用	2	51.3	54.1	55.9
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0			
	数学的な見方や考え方	14	53.4	57.4	57.9
	数学的な技能	0			
問題形式	数量や図形などについての知識・理解	1	82.6	86.7	87.5
	選択式	3	81.2	83.5	83.2
	短答式	6	58.6	62.8	63.3
	記述式	6	39.1	43.8	44.8

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



設問別集計結果

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があります。それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合があります。

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			正答率（%）			無解答率（%）		
			数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	管内	北海道（公立）	全国（公立）	管内	北海道（公立）	全国（公立）
1 (1)	案内図を基に、経路を示すはり紙を選ぶ	与えられた図から情報を適切に選択し、空間における図形的位置関係を的確に捉えることができる	1 (2) ア、イ										77.0	78.0	77.0	0.3	0.2	0.3	
1 (2)	外から校舎を見た図で、案内図に示された非常口の位置を選ぶ	日常的な事象を表した図を観察し、空間における位置に関する情報を適切に読み取ることができる	1 (2) ア、イ										91.0	92.9	92.8	0.3	0.3	0.4	
1 (3)	図形の性質を用いて、横断幕が木にまったく隠れない最も低い位置を求める方法を言葉や図で説明する	事象を理想化・単純化し、その結果を数学的に解釈し、問題解決の方法を説明することができる	1 (2) ア、イ								○		52.3	57.5	60.6	18.8	14.5	12.7	
2 (1)	2つの偶数の和は偶数になることの説明を完成するために、式 $2m + 2n$ を変形する	与えられた説明の筋道を読み取り、式を適切に変形することによって、その説明を完成することができる	2 (1) イ、ウ								○		55.4	61.4	61.2	13.1	9.8	9.3	
2 (2)	2つの偶数の積は8の倍数になるとは限らないことの説明を完成するために、予想が成り立たない例をあげ、その積を求める	事柄が成り立たない理由を説明する場面。反例をあげることで、その説明を完成することができる	2 (1) イ、ウ								○		59.4	63.6	65.4	13.3	9.8	9.0	
2 (3)	2つの偶数の商についての正しい記述を選び、その理由を説明する	予想された事柄が成り立たないことを判断し、その事柄が成り立たない理由を説明することができる	2 (1) イ、ウ								○		37.9	41.1	44.2	9.4	8.5	6.3	
3 (1)	与えられた表やグラフから、人数が24人のときに6.0秒かかったことを表す点を求める	与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる	1 (1) ウ								○		82.6	86.7	87.5	9.2	6.3	5.8	
3 (2)	大地さんの求め方を基に、ウェーブをする人数と時間について、2つの数量の間の関係を説明する	事象を理想化・単純化して問題解決した結果を解釈し、数量の関係を数学的に説明することができる	1 (1) ア、エ								○		55.4	63.5	62.3	38.1	30.4	30.1	
4 (1)	2つの線分の長さが等しいことを証明する	図形の性質を、構想を立てて証明することができる	2 (2) イ、ウ								○		36.5	39.8	39.4	27.9	24.2	22.5	
4 (2)	$\angle BAC = 110^\circ$ 、 $BD = AD$ のとき、 $\angle DAE$ の大きさを求める	付加された条件の下で、証明を振り返って考え、事柄を用いることができる	2 (2) ア、ウ								○		19.4	22.6	23.3	33.2	26.2	25.8	
5 (1)	スティックゲームの遊び方を基に、1本表、3本裏のときの得点を求める	ある場合の得点を樹形図を利用して求めることで、与えられた情報を分類整理することができる	2 (1) ア								○		76.2	77.7	79.7	7.0	5.3	4.8	
5 (2)	1点と2点のとりやすさについての正しい記述を選び、その理由を確率を用いて説明する	不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を説明することができる	2 (1) イ								○		26.4	30.5	32.1	11.0	9.3	7.3	
6 (1)	弟が駅に着いたときの、兄のいる地点から駅までの道のりを求める	与えられたグラフを、事象に即して解釈することができる	2 (1) イ、エ								○		58.6	64.8	62.7	12.1	8.8	9.0	
6 (2)	兄の速さを変えないとき、弟と兄の進む様子を表したグラフを選ぶ	グラフの特徴を事象に即して解釈し、結果を改善することができる	2 (1) イ、エ								○		75.6	79.7	79.8	2.8	2.0	2.5	
6 (3)	兄の出発時間を変えないとき、兄の進む様子を表すグラフの両端の2点を求め、そのグラフから兄の速さを求める方法を説明する	グラフの特徴を事象に即して解釈し、結果を改善して問題を解決する方法を説明することができる	2 (1) イ、エ								○		26.4	30.3	29.9	23.3	19.4	17.5	